# 高台だより

H25年2月号
No.331
発行責任者
栗原千秋
会員328世帯
全 371世帯
ホームページは
taka-dai.info
自治会設立
昭和61年4月
手をつなごう
高台自治会で

## 自治会総会は４月13日（土）
## 来年度に向けての準備が進んでいます

第２８回高台自治会総会は、４月１３日（土）に開催されます。ここで２５年度の計画・予算・体制などが審議・決定されます。総会は重要な会議です。皆さんの出席をお願いします。総会での審議に向けて、準備が進んでいます。

▼『ブロック委員選出』現ブロック委員が中心となって、次期ブロック委員を推薦いただいています。既にほとんどが決まっていますが、積極的にご参加・ご協力をお願いします。

▼『部会等の次期計画』各部会のリーダーが中心となって、部会の総括をしています。これをベースに次期計画案を作成します。会計も決算案と予算案の作成を進めています。

▼『次期常任委員の選出』常任委員１５名（程度）を自薦・他薦で選出いただいています。有志の方またブロック委員経験者は積極的に立候補いただければと思います。４月１３日の総会時には、常任委員の中から互選により会長を選出します。

▼『総会関連』自治会定例総会で審議いただく議案書案を現在作成中です。現役員で検討し、４月４日頃に印刷し、会員の皆さんに配付いたします。

昨年の総会の様子

自治会活動にご理解・ご協力いただき、積極的に参加いただければと思います。

## 部会等報告

【福　祉】

◉先日福祉部会の年間活動総括のための会合が開かれ各課題が検討されました。その中で今年度の「敬老昼食懇談会」は参加人数が多くなったため２日間に分けて行われましたが、来年度は親睦のためにも分けずに実施することなどが検討されました。

【緑のサポータ】

◉自宅の生垣や垣根を作る場合、市から助成金がでます。例えば一定の条件に合えば、生垣を新設する場合最高５万円、生垣等を作りかえる場合最高７．５万円また景観形成に寄与すれば以上の２割増しの助成があります。生垣が大きくなりすぎ植え替える場合、地震対策のためにブロック塀を生垣に代える場合、道路にはみ出した生垣を植え替える場合などは、この制度を利用されればと思います。詳細は長岡京市のホームページをご覧ください。

【自治会】

◉高台自治会の組織率は現在８８％と、市内の自治会の中でも非常に高い値を誘っています。しかし進む高齢化に対応しまた予測される大震災にあたるため、さらに多くの皆さんの参加をお願いします。お近くの未加入の方にお声をお掛けいただければと思います。また加入の意向の方がおられましたら近くの役員までお知らせください。

平成１０年から工事が始まった「にそと」（京都第二外環状道路）の完成が近づいています（３月末開通予定）。にそとは、久御山と大枝とを結ぶ１５Km（久御山―山崎間は既に完成）の自動車専用道路で名神とつながります。高台近くにはインターチェンジも作られ、また周辺道路の整備も大きく進んでいます。高架の下には地域の樹木も植えられ、にそとの完成により高台周辺の景観や交通事情も大きく変わります。

菩提寺橋付近　43年前　2年前　現在

## バザーを計画しています

夏まつりで恒例の「バザー」が昨年は中止になりましたが、その後の復活の声に答えて、「高台さくら祭り」に合わせての実施を考えています。

今年のさくら祭りは、３月２５日（日）に行われ、桜の森の満開の下で酒宴を張ることになっていますが、そこでバザーも併催するという計画です。詳細は今後詰めていきますが、バザー以外にフリーマーケット（ｆｌｅａ＝蚤、フリマ）の併設も考えています。お使いになっていない物品などをバザーに提供いただける方、自分の作品やコレクションを売るフリマに参加される方は、ご準備いただければと思います。またバザー運営をお手伝いいただける方は近くの自治会役員までお申し出ください。

バザーを皆さんのご協力で成功させたいと思います

一昨年のバザーの様子

## 緑のサポータの集い

２月２日市立図書館会議室で「みどりで笑顔のつどい」が行われました。この会合は、市内の緑のサポータ８４団体が一堂に会して、情報交換と研鑽のために毎年行われています。市長の挨拶のあと、緑化に貢献のあった３団体が活動を紹介しました。その中に緑のサポータ「高台さくらクラブ」も選ばれ、高台５号公園の英国風庭園について発表しました。栗原会長が活動・経過・現状などをパワーポイントとビデオで紹介し、大きな反響がありました（パワーポイントとビデオについては、高台自治会ホームページの「イベント写真」からご覧ください）。

引き続き公園と街路樹をお世話いただく緑のサポータを募集しています。お近くの自治会役員までお願いします。

発表の様子

## お知らせ

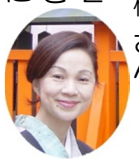
◉特別歴史講演会「長岡京の謎を解く」が、３月１０日（日）１３時から産業文化会館１階ホールで開かれます。講師は京都市歴史資料館々長 井上満郎氏で、先着２００名で申込不要です。長岡への遷都の謎、１０年で廃都の謎などについてのお話しがあります。

◉さくら会館の次回掃除は３月９日（土）１０時からで、担当は１８Bと１９B（リーダ三橋さん）です。

３月３日（日）10時から、長岡第五小学校で、長五小校区地域コミュニティ協議会主催の「第２４回・長五小校区友好祭」が開催されます（雨天決行）。西乙訓高校・長四中吹奏楽部などの演奏、焼いも・うどん・フランクフルト・焼きそばなどの屋台、竹馬・リムころがしなどのゲーム、グランドゴルフ・トランポリンなどのスポーツが楽しめます。豪華景品の当たる抽選もあります。詳細は第五小区全戸に配られるコミュニティ協議会ニュースをご覧ください。

## オトナリさんの独り言

２B　米岡 芳枝 さん



大阪の街中で育った私は２７年前にこの地に越してきました。山を目の当たりにして近くで暮らすようになって一番驚いたこと、それは雨がひとしきり降った後に山から立ち昇る水蒸気でした。西山からさかんに立ち上る真っ白なその様を初めて目にした時、とても神聖な光景に感じられました。

鶯の鳴き声で目覚めた春、蛙の合唱を子守唄に眠りについた夏、紅や黄の葉に囲まれた秋、田畑一面におりた真っ白な霜を見ながら駅へと急いだ冬の朝……。自然が見せてくれる変化に、子どものように喜び、驚いて日が過ぎました。

今は独立した子どもたちも、五小からの帰り道で自然の道草をたっぷり楽しんだようです。まだ多くの田があったので、並んだ二枚の田んぼの一方にはカブトエビが、一方にはオタマジャクシが住み分けているのを発見したと嬉しそうに知らせてくれた顔を懐かしく思い出されます。

犬たちと小泉川の土手をよく散歩しました。空の色を映して流れる川に、土手の植物に、羽を休めに来る鳥たちに季節の移ろいを感じました。写真でしか見たことのない「カワセミ」に出会った時は、驚きで息をのむ思いでした。そんなこんなで、自然と縁遠かった私も、気がつくと人生の半分近くを自然に囲まれて暮らしたことになります。

先日遊びにきた５歳の孫が雨の外を眺めていましたが、突然大きな声を上げました。「わあ、お山から湯気がいっぱい出てる～！」

★高台だよりが今月から従来のＢ４版からＡ３版となり読みやすくなりました。

## 会員動向

《入居・入会》
９B　３・３・４　中村信昭さん

《退居・退会》
１７B　３・１６・５　井村玲子さん